



東京外国語大学 (東京都)



多言語・多文化キャンパスにおける充実した日本語教育

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史：東京外国語大学は、世界諸地域の言語・文化・社会及び国際関係を専門とする大学として、日本の多くの大学の中で独自の地位を確立している。

国際日本学部、言語文化学部、国際社会学部、大学院総合国際学研究所（博士前期・後期課程）、留学生日本語教育センター、アジア・アフリカ言語文化研究所において、世界のほぼすべての地域にわたる言語学、語学、文学、歴史学、哲学・思想、文化人類学、社会学、政治学、経済学と幅広い分野の教育・研究が行われている。特に2019年4月開設の国際日本学部では、国際的な視野から日本を総合的に学ぶことができる。

本学の直接の前身である東京外国語学校（明治32年(1899)創立）もまた、海外に活躍する多くの人材を養成し、異文化の受容と外国語教育の向上・普及に大きく貢献してきた。その源は安政年間「蕃書調所」まで遡ることができる。

戦後「東京外国語大学」として新たに発足して以来、本学は「世界の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して世界の諸地域に関する理解を深めることを目的とする。」の理念のもとに、国際社会の第一線で活躍する多数の有能な卒業生を社会に送り出している。

2) 教職員・学生数等（2021年5月1日現在）

学生数 国際日本学部 243名
言語文化学部1,755名
国際社会学部1,803名
大学院博士前期課程311名
大学院博士後期課程206名
教職員数 379名

② 国際交流の実績

本学の学生を世界に送り出すとともに、世界諸地域からの留学生を積極的に受け入れている。
・交流協定締結状況（2021年10月6日現在）
71か国・地域/229機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

1980年に日本で最初に日研生を受け入れた実績を持つ。
2021年：留学生数 591人、日本語・日本文化研修留学生 27人
2020年：留学生数 666人、日本語・日本文化研修留学生 13人
2019年：留学生数 796人 日本語・日本文化研修留学生 24人

④ 地域の特徴

東京西部の緑豊かな環境。新宿・渋谷へも電車で40分程度。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

「多言語・多文化環境における学び」および「日本語」・「留学生向け専門科目の充実」を特色とする。科目履修については、アカデミックな日本語の能力を伸ばすための日本語科目及び、各自の専門・研究テーマに合わせた学部科目の履修が可能で、各学生の日本語のレベルに合わせた履修システムとなっている。学部科目については、日本語・日本語教育などの言語関連科目、日本文化・社会・歴史関連の科目などが履修できる。

③ 受入定員

24名（大使館推薦17名、大学推薦7名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本で1年間の勉学・研修に支障のない日本語運用力を持つこと。留学開始前に日本語・日本文化にかかわる興味のあるテーマを決め、1年間の研修修了時に、研修の成果となる修了レポートを執筆する意欲を持つこと。大学推薦は、JLPT N2以上、大使館推薦はJLPT N3以上が望ましい。

⑤ 達成目標

入学時にプレイスされた日本語レベルより上のレベルに到達し、各自の興味・関心に合わせたテーマで修了レポートを執筆する。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2022年10月上旬～2023年8月下旬
（在籍期間：2022年10月1日～2023年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月～2023年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月24, 25日	渡日
9月下旬	オリエンテーション
10月1日	秋学期授業開始
12月上旬	国際交流の夕べ
1月中旬	秋学期授業終了
1月下旬～3月下旬	冬学期
4月上旬	春学期授業開始
5月上旬	新入生歓迎会（外語会主催）
7月中旬	春学期授業終了および修了式
8月	帰国（2021年は8月中）

⑨ コースの修了要件

所定の単位を履修し、修了レポートを提出すること。日本語のレベルにより、必修の履修科目と単位数は異なるが、半期7コマの授業を履修すること。修了要件を満たしたものは修了証書を授与する。単位取得可能。成績証明書に基づく単位互換については出身大学の判断による。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は秋学期・冬学期・春学期・夏学期の4タームの区分で開講され、主となる授業は秋学期、春学期である。学生の日本語レベルに応じて「全学日本語プログラム」（全7レベル）で日本語を履修するとともに「学部科目」を日本人学生やほかの留学生とともに履修する。各自の興味・関心に応じたテーマについての研究を行い、修了レポートを提出する。

詳細は以下の通りである。

2) 必須科目

- ・指導教員の下で、研究を進め、修了レポートを執筆する。
- ・日本語: 400～700レベルは総合日本語（日本語レベルにより適当な授業数が2～5と異なる）を中心に、必要に応じて技能別科目を履修する。
- ・学部科目:
国際日本学部・言語文化学部・国際社会学部で開講されている科目の中から、各自の興味・関心及び日本語力に応じて履修する。（ただし、日本語600レベル以上の学生のみ）
- ・修了レポートの内容
学生は各自関心のある分野についての研究を行い国際日本学部の教員が指導に当たる。国際日本学部は、次の4領域を専門分野とする30名以上の教員を擁しているため、学生の関心に基づいた研究について、きめ細かく指導することが可能である。
 - ①日本の政治、経済、社会、歴史
 - ②日本文学、日本文化
 - ③日本語学
 - ④日本語教育学

3) 選択科目

本学では、日本を総合的に学ぶ教養日本力科目が用意されており、それを履修することにより、日本についてより深く学ぶことができる。

【授業科目及び授業時間数】 日本語

授業科目		時間数				
		秋学期	春学期	計		
全学日本語プログラム	日本語中級 400	中級総合日本語	150	150	300	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章表現	30	30	60
	口頭表現	30	30	60		
	日本語中上級 500	中上級総合日本語	150	150	300	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章表現	30	30	60
	口頭表現	30	30	60		
	日本語上級1 600	上級1総合日本語	90	90	180	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			時事	30	30	60
			文章表現	30	30	60
	口頭表現	30	30	60		
	日本語上級2 700	上級2総合日本語	60	60	120	
技能別日本語		文法	30	30	60	
		読解	30	30	60	
		聴解	30	30	60	
		時事	30	30	60	
		文章表現	30	30	60	
		口頭表現	30	30	60	
ビジネス	30	30	60			

4) 見学、地域交流等の体験

日本文化を体験し見聞を広める機会が用意されている。※COVID-19の感染拡大状況により中止の可能性有

5) 日本人学生との共修等の機会

国際日本学部の日本人学生は、留学生と共に学ぶことを通じて、日本を総合的に捉えることを目指している。学部の科目を履修することにより、このような日本人学生との共修が可能である。

⑪ 指導体制

国際日本学部の教員が責任をもって指導にあたる。

■ 宿 舎

本学敷地内に国際交流会館を設置しているが、室数が限られているため、必ずしも入居できるわけではない。入居できない場合は、学外のアパート等を紹介する。

・過去3年間の日研生の宿舎入居状況（各年度10月現在）

2021年度	本学国際交流会館	27名
2020年度	本学国際交流会館	12名
	民間アパート等	1名
2019年度	本学国際交流会館	0名
	民間アパート等	24名

■ 修了生へのフォローアップ

修了生データベース構築がなされ、毎年更新している。修了生は卒業後、就職・大学院進学が主である。大学院進学のために再来日する日研生も多い。



国際日本学部教員



国際交流の夕べ(2019年12月実施)

～着物の着付け、華道、茶道などの日本文化体験をしました～

■ 問合せ先

<担当部署>

東京外国語大学留学生課

住所 〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学留学生課

Tel : +81-42-330-5184(直通)

Fax : +81-42-330-5189

E-mail : ryugakuseika@tufs.ac.jp

東京外国語大学のホームページアドレス

<http://www.tufs.ac.jp>

国際日本学部のホームページアドレス

<http://www.tufs.ac.jp/education/js/>

留学生日本語教育センターのホームページアドレス

<http://www.tufs.ac.jp/common/jlc/index.html>